

令和元年度（第58回）農林水産祭むらづくり部門受賞団体の概要

【農林水産大臣賞受賞団体（代表者）】

●^{ごみよう}五名^{ごみよう}活性化協議会〔香川県東かがわ市五名〕（会長 ^{おぎた}小北^{いつろう}逸郎）

（1）むらづくりの背景・動機

- ・ 過疎化・高齢化が進行するふるさと・五名に危機感を共有していた地区住民が、平成 17 年の五名小学校廃校を契機に、小学校の跡地利用と地域の活性化を目指す協議会（当時 五名活性化対策委員会）を立ち上げた。
- ・ ふるさと祭り等の交流イベント開催により、地区内外の交流人口拡大を図るほか、地域の農産物などを販売する直売所の運営など、雇用を生み収入を得る方法も確立し、持続可能な地域活動に取り組む。
- ・ 今年度にはカフェスペースを併設した新たな直売所のオープンを控えており、さらなる地域コミュニティの深化が見込まれる。

（2）むらづくりの内容

① 生産面における取組状況

- ・ 女性部が中心となり産直施設「五名ふるさとの家」を運営。五名で獲れた米、きゅうり、アスパラなどの農産物や加工品、家庭料理などの販売はもとより、地区内外の交流の場や地域の憩いの場としても機能している。
- ・ 里山の保全と鳥獣被害対策を図るため、間伐材はシイタケ原木・薪・炭に、捕獲したイノシシは食肉に加工して販売。薪とイノシシ肉はふるさと納税の返礼品として好評を得ており、雇用創出にもつながっている。
- ・ 五名の名所や飲食店、体験コンテンツを網羅した「五名マップ」を作成。食べる・見る・楽しむをコンセプトに地域の魅力を発信。

② 生活改善の取組状況

- ・ 移住希望者には事前に体験宿泊や地域行事への参加を促すなど、地域全体で支援した結果、これまでに 20 人以上の移住が実現した。
- ・ 地区内外の交流を図るため、五名三大祭りとして「五名ふるさとまつり」、「山びこ文化祭」、「ふるさとの家記念イベント&いのしし祭り」を毎年開催。
- ・ 空き家となっていた古民家を農家民宿「五名やまびこの宿」として整備したところ、帰省者や移住者のほか、大学の研究室やスポーツ少年団などの団体客、さらには外国人観光客も利用するなど、五名の滞在拠点となっている。